

企 画・栽 培 養 殖 部
(企 画 部 門)

試験研究の企画調整

川口吉徳ほか企画・裁培養殖部職員

【目 的】

本県の水産業振興に資する試験研究を計画的・効果的に推進するため、課題設定、進行管理、成果の普及など、総合的な企画調整を行う。

【事業内容】

- 1 試験研究ニーズ等の把握
- 2 試験研究の総合的な企画調整
- 3 試験研究の進行管理
- 4 研究成果の広報・普及
- 5 国内外の技術交流・研修の調整

【26年度の実績】

1 試験研究ニーズ等の把握

1) 図書文献の収集整理

当センターに配布のあった各研究機関等からの事業報告書や研究報告書等の文献を整理し、図書室に保管するとともに、データベースに登録した（毎月2回程度）。

2) ネット情報の収集整理

随時、インターネット上にある試験研究関連情報等を整理し、研究員等に周知した。

3) 現地応用講座・視察研究受入等によるニーズ把握

県内各地で実施した各種研修等や当センターにおける視察研修の受入時に、漁業者等からの試験研究に対するニーズの把握に努めた。

4) 出先機関との意見交換会

現場における問題解決やニーズ把握のため、地域振興局及び支庁の水産関係職員との意見交換会を開催した。

- ・日 時：平成26年7月2日（火） 13:30～16:00
- ・開催場所：水産技術開発センター 講義室
- ・出席者：水産振興課・地域振興局及び支庁11名、当センター20名

2 試験研究の総合的な企画調整

1) 研究開発推進会議

当センターの試験研究業務の適切かつ効果的な推進を図ることを目的に開催した。

- ・日 時：平成26年9月5日（金） 13:30～15:30
- ・開催場所：社会福祉センター第3会議室
- ・出席者：研究開発推進会議委員7名（代理出席1名）、当センター8名
- ・内 容：平成26年度終期事業及び継続事業についての評価
平成27年度新規予定事業についての評価

2) 水産総合研究センターとの連携等

- ・(独)水産総合研究センター主催のブロック別水産業試験研究推進会議の本会議及び部会（西海区ブロック）や専門分野別水産業試験研究推進会議（水産利用加工等）に出席した。
- ・10課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

表1 (独)水産総合研究センター主催の主な会議等への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
11月6～7日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議 漁業資源・海洋環境部会, 地域増養殖研究部会, 有明海・八代海研究部会	長崎市	副 所 長
11月11～13日	水産利用関係研究開発推進会議及び利用加工技術 部会研究会（品質安全研究会・資源利用研究会）	横浜市	担当職員
12月4～5日	漁場環境保全関係研究開発推進特別部会 赤潮・貝毒部会	広島市	担当職員
12月4～5日	水産増養殖関係研究開発推進会議 魚病部会	伊勢市	担当職員
12月4～5日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議	鹿児島市	所長, 副所長

3) 他県との連携等

①九州・山口ブロック水産試験場長会

場長会（2回）及び各分科会に出席した。なお、魚病分科会は、本県が担当県となり鹿児島市で開催した。

表2 九州・山口ブロック水産試験場長会及び部会への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
10月23～24日	魚病分科会	福岡市	担当職員
10月29～30日	漁業・資源分科会	唐津市	担当職員
7月30～31日	場長会	宮崎市	所 長
11月6～7日	漁場環境分科会	長崎市	担当職員
11月6～7日	利用加工分科会	長崎市	担当職員
1月15～16日	内水面分科会	山口市	担当職員
2月12～13日	海面増殖分科会	福岡市	担当職員
3月3～4日	磯焼け・藻場造成分科会	上天草市	担当職員

②他県との共同・連携研究

9課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

4) 大学との連携等

①水産研究交流セミナー（平成13年度から毎年1回実施）

鹿児島大学水産学部との連携を図るため「水産研究交流セミナー」を開催した。

- ・日 時：平成26年11月21日（金） 15:00～17:00
- ・開催場所：水産技術開発センター 講義室
- ・出席者：鹿児島大学水産学部20名、当センター21名
- ・内 容：水技センターと水産学部間の共同・連携研究活動の紹介及び情報・意見交換

②大学との共同・連携研究

10大学、16課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

5) 各種競争的資金にかかる情報収集・管理

各種資金の説明会、情報交換会等に参加し、所員へ伝達し、競争的資金の応募等を促進した。

表4 平成26年度に新たに採択された競争的資金

制 度 名	採 択 課 題
農林水産省（農林水産技術会議） プロジェクト研究	養殖ブリ類のストレスレス水揚げシステムと大型魚全自動高速魚体フィレ処理機開発

3 試験研究の進行管理

試験研究の進行管理、評価等を行うため、4月に進行管理、10月に中間進行管理を行うための所内会議を開催した。

また、各部ごとに業務検討会（4～5月開催）を開催した。

4 研究成果の広報・普及

1) 漁業情報システムによる研究成果の広報・普及

漁業情報システムの情報発信機能（ホームページ等）を活用し、研究成果の広報・普及を図った。

※ホームページへの掲載回数「研究の動き」「普及の動き」：103回

2) 漁業研修の推進

各種漁業研修を通じ研究成果の広報・普及を図った。（「漁業研修推進事業」参照）

3) 機関誌「うしお」の発行

研究成果の広報・普及を図るため、機関誌「うしお」を4回（5, 8, 11, 2月）発行した。（発行部数：250部／回）

4) 事業報告書の発行

平成25年度版事業報告書を平成27年3月にホームページに掲載した（20年度版から印刷製本休止）。

5) 研究報告の発行

研究成果の広報・普及を図るため、「研究報告第5号」を平成26年5月に発行した。

6) 研究報告会の開催

開所から10年間における主な取組，成果を漁業関係者をはじめ，広く県民に広報・普及を図るため研究成果発表会を開催した。

- ・期 日：平成27年2月10日（火）
- ・場 所：かごしま県民交流センター大ホール
- ・内 容：

①口頭報告

報 告 課 題	報 告 書
鹿児島県海域におけるキビナゴの漁獲特性	資源管理部 主任研究員 野元 聡
ヒジキの種苗生産技術開発について	漁場環境部 研究専門員 猪狩 忠光
ノカルジア症に関する研究について	水産食品部 研究専門員 柳宗 悦
イワガキ種苗生産技術開発研究	企画・栽培養殖部 主任研究員 眞鍋 美幸

②ポスター発表

報 告 課 題
・ 流れ藻とモジャコの来遊予測に向けて（資源管理部） ・ 赤潮防除剤開発試験の概要（漁場環境部） ・ 高品質冷凍魚開発研究（水産食品部） ・ 南方海域で漁獲されたカツオの品質について（水産食品部） ・ 内水面における魚病診断状況について（水産食品部） ・ マグロ血合肉すり身化技術（水産食品部） ・ カンパチ種苗生産技術の開発と移転（企画・栽培養殖部） ・ 放流ウナギ馴致試験（企画・栽培養殖部） ・ ウナギ資源保護対策研究結果の概要（漁場環境部）

5) その他

表5 特許等の出願状況

種 別	出願状況等	件 数	内 容	取得年度
特 許 権	登 録 済 み	2 件	アシタバ添加養殖用餌料 血合い肉利用した練り等製造法	H24.7 H26.9
	出 願 中	1 件	酒盗の凍結乾燥粉末の製造法	
	審査請求中	1 件	ヒスタミン発生の抑制	
意 匠 権	登 録 済 み	2 件	藻場造成ブロック（大型） 藻場造成ブロック（小型）	H16.11 H17.10
計		6 件		

5 国内外の技術交流・研修の調整等

国内外からの研修視察を受け入れるとともに、必要に応じて当センター職員等の講師について調整を行った。

表6 研修視察等の受入実績

区 分	受入団体数	受入人数
研修視察	22	202
海外からの視察	2	15
インターンシップ	1	4
一般見学	34	1,277
合 計	56	1,479

表7 研修視察等の受入実績の推移

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
受入人数	4,648	2,880	2,338	2,359	1,932	2,043	1,719	1,461	1,948	1,495	1,479

漁業情報提供事業

川口吉徳，富安正藏，西広海

【目 的】

水産技術開発センターの試験研究の成果等を迅速に広報・普及するため，漁業情報システムの円滑な運用を図る。

【事業内容】

- 1 漁業情報システムの円滑な運用
- 2 漁業情報の迅速な提供

【26年度の実績】

- 1 漁業情報システムの円滑な運用
漁業情報システムの保守業務については，民間の専門業者に委託して実施し，円滑な運用を図った。
- 2 漁業情報の迅速な提供
人工衛星情報，フェリー情報，赤潮情報等について，データを収集，解析，加工し，インターネット，電話（音声情報），FAXにより漁業者等に提供した。

表1 漁業情報システムで提供した主な情報

システム名	内 容	インターネット	FAX	携帯電話
人工衛星	水温分布(画像)	○		○
	水温分布(白黒)	○	○	
フェリー ① クイーン・オブ・ザ・シー ② ニューこしき	水温・流向図	○		
	定点別水温	○		○
	黒潮北縁域	○		
漁 海 況	週報	○	○	○
	長期予報	○		○
	モジャコ情報	○		○
	卵稚仔調査結果	○		
浮 魚 礁	水温，位置情報	○		
赤 潮	地図でみる赤潮情報	○		○
	赤潮調査結果	○		○
	注意報・警報ほか	○		○

表2 漁業情報システムの利用件数の推移

媒 体		H22	H23	H24	H25	H26
Webサイト訪問数		300,798	210,917	202,088	265,128	245,546
主なサイトの閲覧数	人工衛星	430,949	92,910	83,573	90,118	137,805
	赤 潮	194,647	68,682	48,837	18,708	12,625
	フェリー	105,067	100,002	103,303	88,968	87,682
音声情報（浮き魚礁）		526	40	17	50	46
FAX情報(衛星等)		108	87	66	51	37
システム利用合計		301,432	211,044	202,171	265,229	265,229

漁業研修推進事業

奥原誠ほか企画・栽培養殖部全員

【目 的】

漁業担い手の確保・育成を図るため、漁業者等を対象にして、漁業に関する知識や技術等の研修会を開催するなど、漁業研修を推進する。（水産振興課からの令達予算で事業を実施）

【事業内容及び26年度の実績】

1 小中学生・高校生研修

小・中・高校生を対象に、水産業に関する初歩的な知識や技術（小・中学生）、漁業の現場等（高校生）についての認識を深めてもらうための研修を実施した。

実施校	実施場所	実施期間	日数	参加人数	研修内容
今和泉小学校	水技センター	5～2月	3	24	ワカメの養殖、魚の加工(トビウオ塩干)体験
西指宿中学校	水技センター	7月4日	1	19	魚の加工体験(トビウオ燻製)
鹿児島水産高校 栽培工学コース	東町漁業協同組合 他	11月4日 ～6日	左記の内 2	16	東町漁業協同組合の概要研修 水産加工場実習、漁家体験 他

2 漁業就業者研修

中核的漁業者の育成を図るため、漁業就業者を対象として、漁業に関する総合的、専門的な知識及び技術について研修を実施した。

コース	実施場所	実施月日	日数	参加人数	研修内容
潜潜水士免許講習	水技センター	8月26日 ～27日	2	7	潜潜水士養成講習
栽培養殖コース	水技センター	9月4日	1	9	魚類養殖に関する研修 (牛根漁協青年部)

3 現地応用講座

地域の課題に対応した研修や、水産技術開発センターの成果報告を行った。

実施地区	実施月日	日数	参加人数	研修内容
南薩地区(枕崎市)	11月27日	1	30	カツオ資源の動向、マダイ・ヒラメの放流効果について
西薩地区(いちき串木野市)	3月6日	1	50	西薩海域における資源の動向外

4 コンサルタント派遣事業

漁業生産の安定と漁村の活性化を図るため、県内外の知識人、学識経験者、熟練技術者等の専門家を各地域に派遣し、知識、技術の教育普及等を行った。

実施地区	実施月日	日数	参加人数	研修内容
北薩地区	6月12日	1	15	最近の水産物流通について

5 ザ・漁師塾

漁業への理解と就業を促進するため、ザ・漁師塾を実施した。（水産振興課と共同で実施）

区分	実施場所	実施日(期間)	日数	参加人数	研修内容
入門研修	座学研修	鹿児島市	6月7日	1	17 漁業制度、漁業の概要 養殖業体験
	乗船研修	南さつま市	6月8日	1	
短期実践研修	各地	随時(1週間)	7	—	一本釣漁業ほか各種
実践研修(県漁連)	各地	随時(6ヶ月～1年)	6ヶ月	—	研修生の希望する漁業